

身体とこころの健康を学びあう「まち塾」

2011年11月7日(月) 19:00~21:00 旗の台 昭和大学病院
入院棟 17階会議室
(健康ライブラリーの横)

学びあいの
サポーター



八村大輔
(株)メディシンク
代表取締役社長
医療関係のセミナー、
デザイン開発を支援
するベンチャー企業
を立上、医療界の変
革を目指している。



夏目承
新聞記者
新聞記者歴25年。
記者の視点で医療の
現場、患者の視点、
を見据えて健康に生
きるとは何かを追求
している。



磯井純充
まち塾提唱者
森記念財団在籍
「アーク都市塾」
「アカデミーヒル
ズ」と長年に亘って
教育事業に携わった
経験を活かし「まち
塾@まちライブラ
リーの構想を実行中。



語り手
竹中信之
帝京大学医学部
整形外科
助教

骨治療のスペシャリスト。
骨の治療なら世界最先端を
目指しています。



モデレーター
手取屋岳夫
昭和大学病院
教授

心臓外科の第一人者。
毎日、心臓手術をする立場から健
康に生きるための学びあいを提唱。

『“骨”のお話 健康の基本！』

今回は、“骨”のお話です。骨粗鬆症からパリダカで負傷して誰もが治療をあきらめていた患者さんのエピソードまで、日本、いや世界でもっともすすんだ骨の治療を手掛ける竹中信之さんのお話を伺います。

～“患者、健康に関心のある人、医療関係者”が平場で学びあう～

「身体とこころの健康を学びあうまち塾」が目指すものは、まちで生活する人が、身体やこころ健康を学びあう塾です。この「健康を学びあう“まち塾”」では、毎回医療の現場から生の情報を提供していただくプレゼンターを迎え、参加者一同で議論し、お互いの疑問や知見を学びあう塾です。これを通じて「まち塾@まちライブラリー」の仲間になっていただきたいと思ひます。

シリーズ1

- 第3回 (12月5日) お薬のお話 ～知って得するお薬の豆知識～
北原加奈之 (昭和大学薬剤部)
- 第4回 (2月) 乳がんのお話
津川浩一郎
(聖マリアンナ医科大学乳腺・内分泌外科教授)
- 第5回 (3月) 血圧のお話
塚原玲子
(済生会横浜市東部病院心臓血管センター循環器内科)
(敬称略)

主催	「東京まち塾実行委員会」(財団法人 森記念財団内)
後援	財団法人 森記念財団、産業技術総合研究所 現地・現物・現人主義に基づく医療サービスコンソーシアム (株)メディシンク、(株)コカラカンパニー
協力	昭和大学病院 健康の森図書館、LMDP(Life&Medical Design Platform)
会場	品川区旗の台 昭和大学病院入院棟 17階会議室(健康ライブラリーの横)

参加申込先 「東京まち塾実行委員会」(財団法人 森記念財団内) 磯井(いそい)
電話03-6406-6201 FAX 03-6406-6801 e-mail tokyomachi@gmail.com
<http://www.mori-m-foundation.or.jp/machi/index.shtml>

参加費 1回毎 2000円(*当日受付にて) 定員20名(先着順)

身体とこころの健康を学びあう「まち塾」 参加申込書

FAX 03-6406-6801

e-mail tokyomachi@gmail.com

今回の見所

健康に生きるということは、生活の基本である。その為には、普段から健康について適切な知識を持ち、自らの生活を見直してみる必要がある。同時に医療関係者と一般の人、そして闘病をしている患者や元患者の人が持ち得る知見を出し合い、より健康に留意した生き方や闘病の仕方を学びあう場が必要ではないだろうか？

この健康に生きるための「まち塾@まちライブラリー」は、医療サービスコンソシアムご協力のもと定期的に、品川区旗の台の昭和大学病院内にある健康図書専門の図書室“健康の森図書館”において、実際に働いている医師、看護師、薬剤師などの医療関係者と普段から健康に気遣いをしている一般の方や現在、闘病生活をされている、あるいは過去にそのようなご経験を持たれている方によるタウンミーティングを行っていきたい。

氏名 []

団体名 []

部署 []

年齢 [] 性別 男性 女性

e-mail [] @ []

TEL [] FAX []

住所 []

専門分野や
ご興味のある分野 ()

参加のご意図 ()

今後の「まち塾」に 参加する 検討中 考えていない

その他ご意見 ()

* お申込みありがとうございました。

まち塾@まちライブラリー実行委員会一同